

## 議事要旨

イベント	第1回 えどがわ防災女性ミーティング
日時	2026年2月7日(土) 10:00~12:00
場所	グリーンパレス
内容	<p><b>1 ミーティングの趣旨説明：危機管理部防災危機管理課</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ ミーティングの目的や進め方について説明</li></ul> <p><b>2 座学（大規模災害から考える防災における男女共同参画の重要性）：</b> <b>特定非営利活動法人ジェンダー平等 Labota 事務局長</b> <b>特定非営利活動法人全国女性会館協議会 事務局長 坂田 静香 様</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自宅の被害状況、同居の家族の状況により、避難の状況が変わる。正解はない。どういことをすれば避難所にいられるかを今日と次回で考えていきたい。</li><li>○データから見る避難生活<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関連死の約半数が避難生活での疲労</li><li>・ 避難した方が4割、避難できなかった・避難できたがしなかった方が4割</li><li>・ 男性と女性で災害時の支援ニーズが異なる。乳幼児用品は女性からの要望が多かった。</li></ul></li><li>○性別・立場による被災の違い<ul style="list-style-type: none"><li>・ 化粧品やリップクリームは使うことで気持ちの回復に寄与することもある</li><li>・ 女性は着替え困難から疾患リスクが高まる</li><li>・ 災害でDVが新たに発生するというより、既存の暴力が顕在化する</li><li>・ いかなる犯罪も許さない姿勢が大事。注意喚起は全員に対して行う。被害者が悪い風潮にしない。</li></ul></li><li>○災害に強い地域社会を作るには<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「参加」は加わるだけ。計画の段階から関わる「参画」が重要</li></ul></li><li>○支援事例<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全国女性会館協議会で相互支援ネットを立ち上げ</li><li>・ 相談支援にて、支援者からの要望で職員向けの回を1日設けた</li></ul></li></ul> <p><b>3 ワークショップ（要配慮者の生活困難を考えるワークショップ）：</b> <b>特定非営利活動法人ジェンダー平等 Labota 事務局長</b> <b>特定非営利活動法人全国女性会館協議会 事務局長 坂田 静香 様</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 各グループで要配慮者が避難所において困ること・必要なモノ・環境について考え、さらに必要な配慮・支援について話し合う</li></ul> <p>「ワークショップで出た主な意見」</p> <p><u>Aグループ</u></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 目が不自由な方への情報伝達、足元の整理整頓、動線の説明</li><li>・ 体が不自由な方を介助する方がいるか、家族だけに介助の負担が集中するのでは</li><li>・ 高血圧の方は血圧測定が必要では</li></ul>

### Bグループ

- ・障害のある方が1人で避難してきたときにどうするか。グループに1人支援者が必要
- ・目が不自由な方が避難してきたとき、体育館はつかむものがないので、壁際にスペースを配置したほうがよいのでは
- ・耳が不自由な方にはプラカードに大きく文字で情報提供する。外国人や子どもにも伝わるよう、わかりやすい単語を使う
- ・宗教上の理由でお祈りの場所が必要かもしれない

### Cグループ

- ・共通のコミュニケーションができない。何が不自由かわからない
- ・スマホを使って翻訳できるので、その用意が必要
- ・障害の度合いの管理が必要
- ・宗教上の配慮

### Dグループ

- ・聴覚障害の方向けに大きな声だけでなく、筆談やピクトグラムによる案内を併用する。手話ができる人を避難所内で募集し、見える形で配置・表示する
- ・盲導犬同伴者への配慮として、犬アレルギーの方との同室を避けるようスペースを分ける。必要に応じてスタッフが該当場所まで案内する
- ・困窮者や外見からわかりにくい困難にも配慮し、まずは一律に声をかけ、本人の希望を確認する。ヘルプマーク等で意思表示してもらえると支援が早いですが、所持していない人にも配慮する
- ・外国籍住民への対応として、多言語表示やさしい日本語の活用、通訳ボランティアの呼びかけを行う

## **6 次回のミーティングに向けて**

- ・講師より「江戸川区避難所開設・運営マニュアル」を次回までに読んでくることを説明

以上